

(様式3)

事業所名 グループホーム富塚・のぞみの里

作成日: 平成 24年 4月 11日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員に理念を浸透できるよう、会議にて確認の機会をもったり、理念が実践できるように目標を設定し取り組むなどの検討が課題である。	法人の基本理念「愛と希望」に基づいて基本方針を定めさらに重点目標を定める。この理念が抽象的な観念に終わるのではなく具体的に活性化させる。特に、基本技術のうち排泄ケアに重点を置き、施設内研修を通してスキルアップを図る。	全職員を対象とし、個別に面談を行い説明をする。その後、日々のケアに対して、引き継ぎの時間を利用し細かな事に対し基本的ケアの確認を行う。また、現場での応用の部分に対し担当者を決めOJTとして指導を行う。	12ヶ月
2	19	生活の様子をまとめた個別のお手紙を定期的に送るなどして、よりご家族へ情報発信できるよう検討することが課題である。	事業所から定期的に発送しているものの中に各担当者から1ヶ月に1回一筆箋のようなもので生活の様子がわかるような文書を書き同時に郵送する。	会議を通して話し合い、どうしたら実現できるかを考え実行する。うまくいかない場合、試行錯誤をしながら実行する。	3ヶ月
3	34	救急救命の講習など外部研修の機会も活用し、職員の実践力を向上させる必要がある。	研修会を開催し応急手当や、初期対応を身につける。	日本赤十字社に講師派遣依頼をし施設内で研修会を開催する。	2ヶ月
4	20	職員の退職について広報やお手紙等を使用しご家族へ伝達する必要がある。	入職、退職者に関して、施設内人事についてご家族に良くわかるように伝達する。	施設内の人事について、移動があった場合、事業所から定期的に発送している書類の中にお知らせとして、同封する。	2ヶ月
5	35	災害時の地域との協力体制を構築する必要がある。	地域がない場所に立地しているため、隣接する大学との窓口を設立し、協議の場を設け協力体制を構築する切っ掛け作りをする。	事業所の開催している運営委員会で(年4回開催)議題として上程し、協議を進める。	12ヶ月

(様式3)

事業所名 グループホーム富塚・のぞみの里

作成日: 平成 24年 4月 11日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	36	広報等の写真掲載に関してこれまでは随時連絡し許可を取っていたが同意書をとり書面に残す必要がある。	全ご利用者(ご家族)に説明をし承諾いただいたものに関して同意書をとる。	同意書のフォーマットを作成する。 その上で全ご利用者(ご家族)に説明をし承諾いただいたものについて同意書をとる。	6ヶ月
7	45	介護記録において、必要な記録の漏れがあったり徹底がされていなかった。	全職員が、記録の書き方を学び、記録の大切さ書き方を十分理解し、適切に記録が残せるようにする。	「記録の書き方」についての研修に参加した職員を講師とし、施設内研修を行う。	6ヶ月
8	49	昨年度の行事計画の中で「外出行事」がほとんど実施出来なかった。	実施できなかった原因を職員間で検討し実施に向けた対策を立てる。	今年度の年間行事予定の内容を職員会議で再度見直し、出来るだけ「外出行事」に変更し、計画策定を行う。そのために、各行事担当者を決め目標達成に向け時間的余裕を持たす。	3ヶ月
9	11	会議録の作成が、遅く会議に出席できなかった職員に周知徹底出来ていなかった。	書記担当者は、議事録提出を1週間以内とし出席できなかった職員に周知徹底できるようにする。	会議にて議事録提出が何故遅くなるのかを検証し対策を立てる。	3ヶ月
10	6	調査時点でユニット玄関の施錠がしてありご家族への身体拘束に関する同意書及び経過説明が作成されていなかった。	今回の施錠に関するの経緯(現在施錠なし)プロセス、対応を振り返り「身体拘束」という言葉の意味を理解する。	今回の施錠におけるのプロセスに対し会議を開催しフィードバックする。また、その際、同意書のフォーマットについても作成する。	6ヶ月

(様式3)

事業所名 グループホーム富塚・のぞみの里

作成日: 平成 24年 4月 11日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
11	10	ご家族との意見交換の場として機会を設け運営に反映させることが、望まれている。	職員一同が、ご利用者のニーズ、ご家族の要望を理解、受け止めることが出来るようにする。	担当者会議には担当職員だけでなく出来るだけ関わる職員が参加出来るようにする。	12ヶ月
12	33	重度化や終末期に向けた指針がまとまっていない。	「看取り」「死」というものを受け止め職員がケアの基盤となるようにスキルアップしていく。	重度化した場合や、終末期のありかたをテーマにまず、職員間で話し合いの場を設ける。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月